

# NPO法人岡山県国際団体協議会(COINN)の事業紹介

## 1. COINNとは

COINNは国際理解、国際交流、国際支援、国際協力等の74団体からなる連合組織であり、世界の課題に対して関係機関(ユネスコ、国・地方行政機関、高等教育機関、地方行政教育機関、国際機関、NGO、ESDの全国組織等)と連携し解決策を導くことを使命としている。(1991年～)

## 2. 事業の柱

- 国際活動団体相互研鑽のための連携
- 世界の国際活動団体との結集による国際協力

## 3. 事業の実施方法(特に世界の国際活動団体との結集による国際協力)

ESD活動の推進方策を探ることを目的とし、関係者の連携・協力を得て、開発途上国の地域のNGOと岡山の地域のNGOが、ESDの項目に係る現状と課題について相互に協力・補完・提携等すべき事項を検討する。その内容は、以下の通りである。

### (1)海外NGO、関係機関のネットワークを構築(1994年～2003年)

海外とのネットワーク形成事業。ESDプロジェクトを導く国際会議とワークショップを実施。

### (2)ESD(ユネスコの考え)の広報手段を検討実施(2004年)

**ユネスコ・パリ本部との共催事業。**DESDプロジェクト決定過程の国際会議とワークショップを実施。

### (3)非正規教育と正規教育の協働を図る方策を検討実施(2005年)

ESD推進のための教育の実態把握国際会議とワークショップを実施。

### (4)NGOと高等教育機関・国際機関と行政の協働・連携策について検討実施(2006年)

ESD推進のための方策検討国際会議とワークショップを実施。

### (5)国内外NGOと国内外の地域開発を促進する組織(Community Learning Center:CLC/公民館)の役割を検討実施(2007年～2010年)

ESD推進拠点(公民館—CLC)を確認・稼働させるための事業(**岡山宣言発表**)

### (6)ESDを国内外の地域住民に啓発するケーススタディを行い「学びのプロセス」や「参加プロセス」の方法を検討実施(2011年)

開発途上国におけるCLC職員の技能向上

### (7)開発途上国へ公民館の運営ノウハウを移転(2011年～2013年)

NGO(COINN)と公民館活動のノウハウを活用した「人づくり・組織づくり・地域づくり」—開発途上国でのノン・フォーマル教育による地域力向上・再生—

### (8)アジアの若者が故郷や生活の拠点(CLC/公民館)の向上に関わることができる事業を実施(2012年～2016年)

①特に2014年度は「ESDに関するユネスコ世界会議:2014年度ESD推進のための公民館—CLC国際会議運営委員として参加(全参加者:岡山コミットメント2014発表)」

②「アジア青年未来プロジェクト岡山拠点会議」アジアの青年と岡山の青年によるワークショップ—持続可能な社会の構築のために私達がすべきこと—

### (9)今後の課題を発掘しその方向性を企画(2017年～)

**開発途上国と日本(岡山)の青年達が生まれ育った故郷に貢献する事業計画(CLC地域おこし協力隊の結成等)の作成**



アジア青年未来プロジェクト(2014～2016)



ユネスコ・パリ本部と共催



1994年～2016年 招請国の位地図



35カ国300名以上招請